

平和が一番 だから9条!

3000万人署名で「改憲NO!」の声を示そう

安心・安全、平和な年に！ 多くの方の願いです。

戦後、日本は「二度と戦争しない」という道を選びました。憲法9条は、対話による紛争解決の道を示し、「戦力を持たない」と決めました。その徹底した平和主義は、世界の宝です。

ところが、安倍首相は憲法9条を壊そうとしています。許していいのでしょうか。「戦争はイヤ!」。9条を守り、平和な社会を子どもや孫たちに手渡しましょう。

9条に「自衛隊」を書きこめば、どうなるの?

安倍首相は、「9条に自衛隊を書き加えて、自衛隊の誇りを取り戻す」と言います。そうでしょうか? 書き加えられる「自衛隊」は、災害救助に頑張る自衛隊ではありません。戦争法(安保関連法)にもとづいて「海外で武力行使をする自衛隊」です。

「戦争する自衛隊」を憲法で認めて、「戦争する国」へまっしぐら。軍事費がどんどん増やされ、福祉や教育は削られ、産業も研究も軍事優先。そんな国になってよいのでしょうか? 自衛隊員を殺し殺される戦場に送ってよいのでしょうか?

国民の命を削って、アメリカの兵器を爆買いする政府

攻撃能力をもつアメリカ兵器を次々と購入する安倍政治。「中期防衛力整備計画」では、2019年~23年の5年間で過去最大の27兆4700億円を計上しました。「専守防衛」の護衛艦「いずも」を、憲法で禁じる「攻撃型空母」に改修し、F35ステルス戦闘機147機を購入するなど、ムチャクチャです。その費用は、もちろん国民の税金です。「北朝鮮の脅威」もなくなりつつあるのに軍拡が必要でしょうか?

一方、安倍政権は、社会保障予算を削減し、10月には消費税10%増税を狙っています。国民の命と暮らしを削って、私たちの税金をアメリカに捧げる軍拡政治はゴメンです。



辺野古への土砂投入中止を! 「沖縄をまもろう」と声ひるがる

「辺野古に基地はつくらせない」という沖縄の民意をふみにじり、12月14日、沖縄県名護市辺野古の海に土砂が投入されました。ジュゴンのすむサンゴ礁の美しい海への赤土投入に、「青い海を守れ」と幅広い方々が声を上げています。

戦後73年間、沖縄は、米軍機の騒音や墜落事故、繰り返される米兵の事件など危険にさらされてきました。建設されようとしている辺野古基地の耐用年数は200年。「基地あるが故の苦しみ」を孫・ひ孫の世代にまで押しつけてはなりません。

「沖縄のことはウチナーンチュ(沖縄県民)が決める!」 工事は直ちに中止すべきです。